



1-【1】資料・情報の提供（貸出し・閲覧・予約・レファレンス）

概要

- 一般図書は、国内年間出版点数の5割以上を収集、雑誌や新聞は、2,000タイトル以上の収集を目指します。
- 電子図書館のサービスは、コンテンツの充実や視聴覚資料やデータベース、デジタル化した資料などの電子媒体の資料の充実を図ります。
- ウェブ・サイトやSNS、チラシ配布、出前図書館のほか、動画やマンガなどの分かりやすいPR活動を実施します。

サービス指標

リクエストの受付件数
電子図書館の閲覧回数(電子雑誌を含む)

	R 6年度 (R6.8/31現在)	R 8年度目標
リクエストの受付件数	1,558件	4,000件
電子図書館の閲覧回数(電子雑誌を含む)	21,091回	100,000回

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

①資料の収集・提供

- ・図書等の購入は、令和5年度と同水準で推移。雑誌は、目標の2,000タイトル以上を確保。
- ※数値の詳細は、「サービス指標及び主な実績値(資料1)」及び各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ・小説・児童書・文芸中心の電子書籍「高知県電子図書館」は7,262点、調べものに重点を置いた電子書籍「KinoDen」は4,279点を提供。
- ・GIGAスクール端末の活用と電子書籍サービスの普及のため、「高知県電子図書館」のサービスを周知している。

②貸出し・予約・リクエスト

- ・時節に合わせた展示活動を行う等、利用者のニーズに合わせた資料を紹介し、貸出しにつなげている。

③展示

※各サービスの進捗管理シートに掲載。

④利用ガイド

※各サービスの進捗管理シートに掲載。

⑤レファレンス

- ・図書館の広報紙や行政向けメルマガ等に「調べもの案内」の具体例を掲載し、「調べもの案内サービス」の利用を促進。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

①資料の収集・提供

- 電子書籍サービスの有用性・利便性を高めていくためにも、継続的な資料費の確保が必要。
- 県立学校の高知県電子図書館のサービス登録はほぼ完了しているが、市町村立学校の登録は4市3町1村に留まっているため、さらなる周知が必要。
- リサイクル図書の配布
市：NPO法人に絵本、刑務所に一般図書を配布。
県：児童養護施設等に展示期限を過ぎた児童図書選定支援用図書を譲渡。
- 年間出版点数の5割以上収集の目標達成のためには、資料費の継続的な確保が必要。
- 県：除籍後の資料等の有効活用のため、児童図書選定支援用図書の譲渡先の拡充が必要。
- 継続した資料収集・活用のために、収蔵スペースの確保が必要。

②貸出し・予約・リクエスト

- 令和8年3月の次期図書館情報システム稼働に合わせてアプリの改修が必要。

③展示

※各サービスの進捗管理シートに掲載。

④利用ガイド

※各サービスの進捗管理シートに掲載。

⑤レファレンス

- 関連機関への訪問や連携により、継続的なレファレンスの依頼につながっている。
- レファレンスの件数は、情報リテラシー講座や図書館活用講座の実施により、所蔵の有無や調査に時間がかからないクイックレファレンスの件数が減少していることもあるが、全体的な件数が伸び悩んでいるため、今後も継続して調べもの案内サービスのPRを行う必要がある。

今後の取組

- ① 多様な資料の収集と提供を充実させる。
電子書籍サービスは、タイトルの充実を図るとともに、各媒体の特徴も踏まえたPRを実施。
引き続き県内の教育委員会等に対して、学校の教職員と児童・生徒の「高知県電子図書館」への一括登録を働きかける。
選定支援用図書の譲渡について、児童福祉関係の諸機関に向けての、より効果的な案内の範囲や方法などを検討。
県市で重複して所蔵している資料の抜き出しに加え、外部書庫の運用についても検討。
- ② システムベンダーと打ち合わせを行い、応答の改善に向けて、改修内容を精査。
- ③ ※各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ④ ※各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ⑤ 調べもの案内サービスについてのPRを継続。
レファレンス協同データベースへの情報提供を促進。

特記事項など

1-【2】情報リテラシーの向上支援

概要 ○実際に資料や情報を参照することができる図書館のメリットと司書の専門性を生かし、情報社会において求められる情報リテラシーの習得や向上を支援します。

サービス指標
 パスファインダーの提供数
 データベースの利用件数

R6年度 (R6.8/31現在)	R8年度目標
35種	65種
1,160件	5,000件

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

- ① **図書館活用講座の実施**
 - ・情報リテラシー講座として、オーテピアアプリの使い方を学ぶ初級講座を実施(5月から隔月)。
 - ・図書館のウェブサイトを使った蔵書検索の方法等を紹介する動画6本を作成し、YouTubeで公開。**新規**
 - ・学校や団体に対して図書館活用講座を実施。
 例：高知県新規採用職員・主査研修、高知市(こうち人づくり広域連合)新規採用職員研修、土佐リハビリテーションカレッジ(高知健康科学大学)、高知中央高校看護学科、山田高校グローバル探究科等
- ② **利用ガイド(パスファインダー、ガイドブック等)の作成・提供**
 - ・「パスファインダー作成促進プロジェクト」のメンバーを中心に、新規作成するテーマ等の検討を開始。**新規**
 - ・出前図書館や企画展示資料の利用促進のため、ブックリスト8種を改訂、3種を新規作成。
- ③ **連携事業等での情報リテラシー向上支援の実施**
 - ・学校等の図書館見学や職場体験の際に、情報リテラシーに関する説明を行ったほか、連携事業や出前図書館等で図書館の活用方法を説明。
 例：日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」プラン作成講座(7/27、8/22)

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① **図書館活用講座の実施**
 - 情報リテラシー初級講座は、少人数制にしたことで、参加者と対話をしながら丁寧に説明ができるようになったほか、大がかりな会場設営や要員配置が不要となったことで業務の効率化にもつながり、一定の効果が見られる。引き続き実施するなかで課題や改善点を確認していく。
 - 医療系の学校に対して、データベースの活用等、今後の授業や就職後に必要となるスキルの説明・演習ができ、学校側からも高い評価を得た。
 ■ データベースの利用件数が伸びておらず、特にビジネス・農業系の利用が少ない。活用講座の実施等、利用促進のためのさらなる取組が必要。
- ② **利用ガイド(パスファインダー、ガイドブック等)の作成・提供**
 - ウェブサイトを使った基本的な蔵書検索の方法や、図書館ならではのコツ・クセについて動画で紹介することにより、一般利用者はもとより、日頃ウェブ検索をする機会が多い市町村立図書館等の職員に対しても、情報提供ができた。
 ■ パスファインダーについては、サービスによって進捗にばらつきがあるため、職員全員が課題を共有し、協力して取り組む必要がある。
- ③ **連携事業等での情報リテラシー向上支援の実施**
 - 図書館見学や職場体験等において、情報へのアプローチ方法や情報の評価能力について学ぶ機会を提供できている。
 - 館内の貸室で行われるイベントや出前図書館の機会を生かして、図書館の活用についてのPRができている。



情報リテラシー初級講座



図書館活用講座

今後の取組

- ① ・ウェブサイトでの蔵書検索方法を学ぶ情報リテラシー中級講座を実施(9/8)。
 ・ヘルス・リテラシーをテーマとした上級講座(2~3月頃開催)の企画案を作成。
 ・初級講座は9月以降4回実施。
 ・データベースの利用促進策について、各サービス担当も交えて協議。
- ② ・「パスファインダー作成促進プロジェクト」を中心に、作成作業やアイデア出しのサポート、進捗状況の見える化等に取り組む。
 ・新規の情報リテラシー動画の作成について検討。
- ③ ・各サービス担当において引き続き、連携事業の中で図書館活用講座等を行い、利用者の情報リテラシー向上支援に取り組む。

特記事項など

2-【1】ビジネス支援サービス

概要

- 経済や経営、就業、起業、転職等、課題解決に役立つ6～7万冊の書籍、専門誌、データベース等のビジネスに関連する資料・情報を提供します。
- 気軽に相談できるビジネス支援デスクを設置し、担当司書が、情報収集や調べものをサポートします。
- ビジネスに役立つ講座や相談会等を専門機関等と連携して開催するとともに、図書館活用講座等を実施します。

サービス指標	R6年度 (R6.8/31現在)	R8年度目標
ビジネス・農業・産業支援分野でのレファレンス件数	696件	2,400件

主な取組 (R6.4/1～R6.8/31)

- ① 図書館の収集・提供**
 - ・分館・分室にビジネス分野の本を提供(コテピア)。
 - ・高知銀行やジョブカフェこうちへの団体貸出を実施。
 - ・**高知みらい科学館と連携した長期展示を実施(7/2～12/28)。** 新規
 - ・8月にパスファインダーを改訂(4種類)。
 - ・市地域活性推進課と連携し、図書展示「特捜戦隊デカレンジャー×地方創生」を実施。
- ② アウトリーチ・サービスの実施**
 - ・産業、移住等の関連団体を訪問し、図書館活用について説明。
- ③ ビジネス支援サービス活用講座の実施**
 - ・放送大学高知学習センター公開講演会で図書館PR及び出前図書館を実施(8/24)。
- ④ 他機関と連携したセミナー・相談会等の事業の実施**
 - ・まちかど就農相談、若者サポートステーション進路相談会。(毎月)
 - ・**「ジョブカフェこうち出張相談会」をジョブカフェこうちと共催で実施(7/6)。** 新規
 - ・「高校生ビジネスプラン・グランプリ」プラン作成講座を実施(7/27、8/22)。
 - ・県住宅課主催「こうち空き家カレッジ」で出前図書館を実施(7/13)。
 - ・放送大学高知学習センター公開講演会で出前図書館を実施(5/3)。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① 図書館の収集・提供**
 - 分館・分室での展示により、地域の利用者がビジネス分野の資料を手に入る機会を増やすことができた。月平均100冊以上の利用があり、好評を得ている。
 - 団体貸出では、専門書や司書のおすすめ本を連携先に紹介できており、連携先の継続的な利用につながっている。
 - 科学館に関連する本や直接触れる化石等を合わせて展示することにより、科学探求心の触発や高知みらい科学館の周知、より専門的な視点からの資料提供ができています。
 - 関連展示により「高知市×デカレンジャー」コラボキャンペーン活性化に寄与できた。
- ② アウトリーチ・サービスの実施**
 - 高知県商工会連合会や高知県UIターンサポートセンターなどの関連団体に、レファレンス・サービスやデータベースについて紹介できた。
 - ビジネス支援サービスの利用を促進するため、県市の担当課、連携機関へのサービス説明の機会をさらに増やす必要がある。
- ③ ビジネス支援サービス活用講座の実施**
 - 活用講座のPR不足もあり、講座の実施回数が増えていない。サービスの潜在的な需要を掘り起こすため、アウトリーチや関連機関が来館した際のPRのあり方を考える必要がある。
- ④ 他機関と連携したセミナー・相談会等の事業の実施**
 - 各種相談会の開催により、主催者や参加者に図書館の活用についてPRできた。
 - 「こうち空き家カレッジ」での出前図書館では、23人66冊と多くの貸出があったことが主催者から評価され、今後の継続的な連携につなげることができた。



高知みらい科学館と連携した長期展示



出前図書館「こうち空き家カレッジ」



「ジョブカフェこうち出張相談会」

今後の取組

- ① パスファインダー・ブックリストの新規作成。
- ② 県市の担当課、連携機関への訪問やイベント時に、ビジネス支援サービスPRを実施。
- ③ 土佐MBA専科「図書館をビジネスに生かす」を実施。(2/2)
 - ・市町村立図書館向けのビジネス支援サービスに関する研修を実施。(9/19)
 - ・関連機関からのレファレンスへの回答の際に、活用講座に関する情報を合わせて発信。
- ④ まちかど就農相談、若者サポートステーション進路相談会。(毎月)
 - ・ものメッセKOCHI2024へ出展し、企業等にビジネス支援サービスをPR。(11/14～16)
 - ・高知市の移住体験ツアーで館内ツアーを実施。(2/9)

主な連携先

こうち若者サポートステーション、県農業担い手支援課、県住宅課、県産業イノベーション課、市地域活性推進課、市産業政策課、放送大学高知学習センター、高知銀行、ジョブカフェこうち など

特記事項など

- ・デジタル人材育成を目的とした「デジタルデザインコンテスト」に協力。
- ・市広報紙の移住促進をテーマとした記事の中で、当館のサービスが取り上げられる予定。

2-【2】健康・安心・防災情報サービス

概要

- 健康・福祉・防災等の分野の課題解決につながる資料・情報を提供・発信するとともに、図書館の活用方法を積極的に周知します。
- 専門機関等との連携によるイベントの開催、チラシ・パンフレットの配布や企画展示を行うことにより、利用者に情報を提供します。

サービス指標

健康・安心・防災情報分野でのレファレンス件数

R6年度 (R6.8/31現在)	R8年度目標(見直し前)
521件	2,000件(1,600件)

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

① 図書館の収集・提供

- ・専門機関と連携し、発達障害、難病、防災等をテーマにした図書展示を実施。
- ・震災や健康食品に関する報道等、時宜にかなった展示を行った。
- ・映画会担当と協同し、映画のテーマに沿った内容の出前図書館を会場で実施。**新規**
- ・パスファインダーとブックリストそれぞれにQRコードを載せ、相互参照を可能にした。**新規**

② 他機関と連携したセミナー・相談会等の共催事業の実施

- ・高知中央高校看護学科等の生徒を対象にデータベース活用講座等を実施。
- ・高知健康科学大学等と連携して、市民向けの共催イベントを実施。
- ・「ひきこもりピア相談会」を開催(6/2)。
- ・**高知リハビリテーション専門職大学と共催で公開講座を実施(年9回)。**
- ・市地域共生社会推進課等と連携して「地域共生社会推進イベント」を実施(8/25)。

③ アウトリーチ・サービスの実施

- ・市地域福祉活動推進計画の防災福祉部会勉強会に市全域サービス担当と共に参加し、出前図書館と図書館PRを実施。
- ・**高知県中央児童相談所を訪問し、サービス説明を行った。****新規**

④ 広報支援

- ・連携展示やパネル展等を通して、専門機関の啓発事業等の周知に協力。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

① 図書館の収集・提供

- **専門機関から、オーテピアの選書に対してお褒めの言葉をいただいた。**
- 県民・市民の情報要求の高まりに応じて、迅速に情報提供できた。
- 映画会をきっかけに、図書館の未利用者を含む来場者に対しても情報提供できた。
- 関係機関やイベント等ブックリストやパスファインダーを積極的に提供する等、利用促進のためのさらなる工夫が必要。
- 最新情報を提供するため、必要に応じて随時、ブックリスト等の更新が必要。

② 他機関と連携したセミナー・相談会等の共催事業の実施

- **相談会の開催により、支援を必要とする利用者と相談窓口をつなぐことができた。**
- 活用講座では、学校から「今後も引き続き講座をお願いしたい」との声があった。
- 共催イベント実施時にサービスPRの時間を確保し、図書館の活用方法を周知できた。
- 共催・連携事業のより良い運営のため、関係機関への丁寧な説明と相互理解が必要。

③ アウトリーチ・サービスの実施

- 図書館の利用経験の有無に関係なく、県民・市民に対して、課題解決に役立つ資料を所蔵していることをPRできた。
- **市の所属をまたがる横断的な勉強会に参加することで、様々な関係部署に対して、図書館の活用方法やサービスを紹介できた。**
- **高知県中央児童相談所から出前図書館やブックリストの作成依頼がある等、訪問を機に関係が深まった。**

④ 広報支援

- 県や市、専門機関の取組について広報できた。
- 専門機関と共に展示資料を選定することで、利用者に信頼性の高い情報を提供できた。
- 専門機関から、広報活動のために連携図書展示を実施したいという要請があった。



図書展示「健康食品」って何か知っちゃう？」



学生向け図書館活用講座



イベントでの出前図書館

今後の取組

- ① ブックリスト等の提供により、県民・市民、専門機関、行政の各所属及び機関に対する図書館活用の周知を継続的に実施。
・引き続き利用者の情報ニーズを把握し、収集した資料の活用を促進。
・パスファインダーとブックリストを相互に参照できるように、QRコードを載せる等の工夫を引き続き行う。
- ② 専門機関と連携した事業を引き続き実施。
・「ひきこもりピア相談会」(11/3、3/2)
・「がん相談会」(10/6、16、26)
・来年度の共催事業に向けて、高知リハビリテーション専門職大学と協議(10/19)。
- ③ 引き続き連携機関と良好で対等な関係づくりの構築を目指す。
- ④ 広報支援を通して専門機関等との関係を深め、利用者への専門的な情報提供につなげる。

主な連携先

県障害福祉課、県立精神保健福祉センター、市健康増進課、高知市社会福祉協議会、高知健康科学大学、高知大学医学部附属病院、高知産業保健総合支援センター

特記事項など

防災コーナーについて整理し、充実を図る。

2-【3】行政支援サービス

概要

- 高知県庁と高知市役所の職員が、行政運営や政策立案を行う際の情報収集、調べものを図書館司書がサポートします。
- 数多くの方が来館する強みを生かし、各組織・機関と連携した講座・イベントの開催やパンフレット等の配布を行い、行政の政策・施策の推進を支援します。

サービス指標

図書館と連携した課題解決支援のための図書館サービス説明等の実施

R 6年度 (R6. 8/31現在)	R 8年度目標
11回	56回

主な取組 (R6. 4/1~R6. 8/31)

※個別サービスでの取組は各サービスのシートに掲載

①各組織・機関への貸出し

- ・市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出しについて、5月の校長会にて再周知。
- ・各課、関連機関の利用動向把握のため、定期的な貸出冊数の抽出及び記録を開始した。

新規

- ・県市行政団体カードの取扱いについて、より利用しやすくなるよう検討を開始した。**新規**

②図書館活用講座等の実施

- ・「新採職員研修」(こうち人づくり広域連合、県人事課)や「政策研究共同研修」(こうち人づくり広域連合)で活用講座を実施。市「防災福祉部会」でサービス説明を実施。

③図書館活用事例の広報

- ・行政各課向けサービスやおすすめ資料、レファレンス、広報協力などに関する図書館活用事例をメルマガ等で周知。

④各組織・機関と連携した取組の実施

- ・各サービスにおいて、関係機関と連携して定期相談会や連携展示、ブックリスト作成等を実施。
- ・行政各課等の主催イベントにて出前図書館や図書館PRを実施。
- ・**毎月の県市広報紙の特集記事に合わせた関連本を常設展示(5月~)。****新規**

成果と課題 (○: 成果 ■: 課題)

①各組織・機関への貸出し

- 市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出しの利用があった。
- 県心の教育センターや市人権同和・男女共同参画課をはじめとする教育・健康・安心分野関連課を中心に、継続して団体貸出しが利用されている。
- **市教育研究所のスクールソーシャルワーカーから、団体貸出しの資料を読み聞かせることで不登校児とのコミュニケーションに役立ったとの報告があった。**
- 市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出しのさらなる周知が必要。また、従来の学校向けの団体貸出しとの区別が必要。
- 図書館の利用が少ない所属に対するPRが必要。



政策研究共同研修

②図書館活用講座等の実施

- 政策を考えるための情報収集に図書館が活用できることをPRできた。
- 各サービスでの取組により、関係部署とサービス担当者がつながりを持つことで、図書館の活用を促進する環境が整いつつある。



市防災福祉部会

③図書館活用事例の広報

- メルマガを継続的に発信することにより、サービスや活用事例などを効果的かつ充実した内容でPRできている。

④各組織・機関と連携した取組の実施

- 各課への訪問や連携をきっかけに、レファレンスや利用登録、連携展示等が増加した。
- 連携により各組織・機関との相互理解が深まったことで、ニーズの高い事項について正確な情報が提供できるようになり、課題解決に貢献できた。
- 行政各課等の主催イベントでの出前図書館で配布したブックリスト等について、他所属から市民啓発等に活用したいと声がかかった。
- **広報紙の特集に合わせた展示を行うことで、県市の重点的な施策について適切なタイミングで情報提供することができている。**
- 継続的な取組ができるように、今後も各組織・機関との連携を深める必要がある。



県市広報紙特集記事関連本の展示

今後の取組

- ① 利用が多い部署については、ニーズの高い事項を把握し、選書等に生かす。利用の少ない部署にはPRを継続的に実施。
・役職名や事業単位での県市行政団体カード作成について検討。
・校長会だけでなく、学校教職員に直接説明する機会が設けられるように検討。
- ② 令和6年度中の高知市役所での出前図書館イベントについて検討。
・市教育委員会部局研修での図書館活用講座実施に向けて準備を進める。

主な連携先

- 県：人事課、農業担い手支援課、雇用労働政策課、住宅課、精神保健福祉センター、地域福祉政策課、高知県警察本部
- 市：健康増進課、地域防災推進課、地域共生社会推進課、観光魅力創造課、地域活性推進課、産業政策課
- その他：こうち人づくり広域連合

特記事項など

- 令和5年度から行政レファレンスの統計をとる仕組みを設定。(R5:58件)
令和6年度レファレンス件数：31件

2-【4】高知県関係資料の収集・保存・提供

概要

- 高知県に関係する資料を網羅的に収集し、各方面の利用に供するとともに、資料を生かし、県民・市民、観光客、移住希望者等に向けて情報発信します。
- 貴重資料をはじめとするニーズの高い資料のデジタル化を進め、ウェブ・サイトで公開します。

サービス指標

高知県関連のレファレンス件数

R 6年度 (R6. 8/31現在)	R 8年度目標
995件 (事項：399、所蔵：596)	4,400件

主な取組 (R6. 4/1～R6. 8/31)

- ①高知県にとって必要な資料の収集**
 - ・「こうちミュージアムネットワーク」地域資料部会と連携して、県内資料の保存状態等の情報を共有。
- ②図書以外の資料の収集**
 - ・展示コーナーで県内市町村を紹介するため、各市町村へ観光パンフレット等の寄贈を依頼。
 - ・提供可能な行政文書等の資料の寄贈を県と市町村へ依頼。
 - ・県のデジタル行政資料の収集と提供に関する県庁内ワーキンググループのメンバーとして、仕組みづくりについて協議。
- ③貴重資料等のデジタル化**
 - ・県立図書館所蔵の「森家旧蔵資料」や谷秦山ゆかりの資料等68点のデジタル化に着手。
 - ・市民図書館に寄贈された写真等のデジタル化。
- ④デジタル化された貴重資料の提供**
 - ・展示室で貴重資料の複製パネル展示を実施(7/28～9/29)。
 - ・「桂井和雄資料」を収蔵品検索データベースで公開(目録のみ)。
 - ・収蔵品検索データベースでの「図書館のおすすめ」(ウェブ展示)更新。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①高知県にとって必要な資料の収集**
 - 県民・市民から提供された貴重な資料について、「こうちミュージアムネットワーク」と共に保存場所や受入先を検討したことで、貴重資料の散逸を防いだ。
 - 県内の文化施設等では、収蔵スペースに余裕がないことやマンパワーが十分でないこと等から、貴重な資料の受入れには限界がある。
- ②図書以外の資料の収集**
 - 県内市町村の観光情報などを紹介展示することで、市町村情報の発信と各市町村が作成した資料の収集につながった。
 - ボーン・デジタルの資料(初めからデジタルデータとして作成されたもの)の収集・提供について方針等が定まっておらず、引き続き検討が必要。
- ③貴重資料等のデジタル化**
 - 「三宮家資料」192点の目録データが完成し、ウェブ・サイトで公開した。
 - 武吉孝夫写真文庫の資料について、書誌・画像のデジタル化が完了。
 - 写真の画像公開にあたっての肖像権に関するルールづくりが必要。
- ④デジタル化された貴重資料の提供**
 - 展示室での複製パネル展示により、図書館が所蔵する貴重資料についてPRできた。
 - 貴重資料のウェブ・サイトでの公開件数の増加に伴い、貴重資料の問い合わせや利用件数が増加した。
 - デジタル化した貴重資料の展示やウェブ公開によらない新たな活用方法(商用利用ほか)について検討が必要。



県内市町村の紹介展示

今後の取組

- ①・「こうちミュージアムネットワーク」と連携し、小規模館や個人宅にある資料原本の保存を支援。
- ②・市町村の紹介展示を継続的に実施。
・ボーン・デジタルの県行政資料の収集・提供方法について、引き続き、県庁内のワーキンググループに参加して協議する。
- ③・所蔵資料のデジタル化。
- ④・高知県立図書館デジタルギャラリーで『順水家記』の翻刻文を公開。
・収蔵品検索データベースで、デジタル化した資料を公開(ウェブ展示)。
・デジタル画像を用いたパネルを作成し、展示室で展示。
・写真等の公開にあたっての肖像権に関するルールづくりの検討。

主な連携先

こうちミュージアムネットワーク

特記事項など

・県史編さん事業への協力。

3-【1】児童サービス

概要

- 子どもたちの心や成長に寄り添い、豊かな読書経験を培う手助けをするとともに、生涯学習の基礎となる情報リテラシーの向上を図ります。
- 子育てに関わる大人や、子どもの読書活動を支える大人に対する支援を行います。

サービス指標

こどもカウンターの
レファレンス件数

R 6年度 (R6. 8/31現在)	R 8年度目標
1,437件	7,900件

主な取組 (R6. 4/1~R6. 8/31)

- ①情報リテラシーの学習機会の提供**
 - ・図書館見学で、本の分類や並べ方の説明に加え、インターネットを使った検索方法を紹介。
- ②子どもと本を結びつける活動の実施**
 - ・高知県立文学館の企画展示と連携した図書展示や、南海トラフ地震臨時情報に対応した図書展示を実施。
 - ・絵本「どうぞのいす」に出てくる椅子を作るイベントを共催で開催。
 - ・子育て支援センターの連絡会に参加し、図書館サービスのPRを実施。
 - ・活用事例まんが作成のため、はりまや橋小学校の教員にインタビューを行い、図書館との連携など現場の声を聴取。
 - ・園用・学校用と分けた利用案内を作成。
- ③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及**
 - ・ストーリーテリング勉強会などの定期的な開催。
 - ・高知学園短期大学の学生ボランティアによる活動を継続して実施。
 - ・市子ども育成課主管の親子絵本ふれあい事業の本の配布場所として協力を継続。
 - ・吾川郡学校図書館協議会で、学校図書館支援員を対象に、オーテピア高知図書館の児童サービスについて事例発表を実施。
- ④子育て支援に関連する資料や情報の提供**
 - ・「子育て応援コーナー」で、図書・雑誌を含め、子育ての情報を継続して提供。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①情報リテラシーの学習機会の提供**
 - インターネットを使った蔵書検索の方法を紹介することで、利用促進につながった。
 - 図書館見学に来られない子どもたちが、自宅や学校からでも図書館の使い方を学べるような機会を設けることが必要。
- ②子どもと本を結びつける活動の実施**
 - 高知県立文学館の展示に関連した図書を展示することで相互利用を促すことができた。
 - 絵本「どうぞのいす」のイベントでは、子どもが工作や読み聞かせを通して、「絵本の世界を体験する」新しい事例を作ることができた。
 - 新しい利用案内は、園向けと学校向けのサービスの違いが分かりやすく、利用促進につながった。
 - 児童図書選定支援コーナーを利用する団体が限られており、各方面へのPRが必要。
 - 子どもを対象とした読書週間関連行事などが実施できていない。
- ③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及**
 - 学生ボランティアの活動は、4月から新生も加わり、学生同士で学ぶ機会にもなっている。
 - 吾川郡学校図書館協議会での児童サービスの紹介で、団体貸出や選定支援コーナーのPRができ、利用につながった。
 - 地域で読書ボランティアをしたい人が、団体や個人で活動できるように仕組みづくりが必要。
- ④子育て支援に関連する資料や情報の提供**
 - 2階総合カウンター前の「子育て応援コーナー」は目につきやすく、利用の増加につながっている。



文学館のあんびるやすこ展と連携した展示



学生ボランティアによるおはなし会の様子



子育て応援コーナーの様子

今後の取組

- ・図書館見学に来られない学校に対して、オンラインで図書館の使い方を学べる仕組みを検討。高知市内の学校に対しては、Google Classroomの活用を検討。
- ・定例の行事を継続して実施。
- ・児童図書選定支援コーナーのPRとともに、運用について見直す。
- ・「こどもの本の講演会」を継続して実施。こども対象の行事を検討。
- ・教職員向けに団体貸出の活用を周知する取組として、近隣校への訪問を検討。
- ・団体利用の活用事例まんがを作成。
- ・読書ボランティアと地域をつなぐ方法を高知市の関係課に相談して検討。
- ・高知学園短期大学の学生ボランティア活動のサポートを継続して実施。
- ・連携先と講演会の共催や図書展示を継続して実施。

主な連携先

高知県心の教育センター、市子ども育成課、高知こどもの図書館、高知市市民活動サポートセンター、ジョブカフェこうち、高知学園短期大学

特記事項など

- ・「高知県立文学館」「高知まんがBASE」「高知こどもの図書館」のコーナーを継続して設置し、周辺の文化施設の回遊に寄与。
- ・共催イベント等を継続して実施。

3-【2】ティーンズ・サービス

概要

- ティーンズ世代の多様な興味・関心に応える本や学習内容を深めることができる本などを提供します。
- イベント・企画展示の実施やPR活動などにより、図書館利用のきっかけづくりと読書機会の創出に取り組みます。

サービス指標

ティーンズからの投稿件数

	R6年度 (R6.8/31現在)	R8年度目標
ティーンズからの投稿件数	7件	50件

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

- ①ティーンズを主体とした読書普及活動の実施
 - ・「オーテピアティーンズ部」の自主企画であるリレー小説を継続して第5回まで実施。
- ②情報リテラシーの学習機会の提供
 - ・提供中のパスファインダーの内容を改訂。
 - ・ぼけぱすを2種類追加(探究学習・防災)。
 - ・清和女子高校の生徒に図書館活用講座を実施。
 - ・山田高校の生徒に図書館活用講座を実施。内容は図書館の活用方法やMieNa・J-STAGEの使い方の講座、館内見学ツアー、参考図書の提供など。
 - ・(株)日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に応募するためのプラン作成講座を実施(7/27、8/22)。
 - ・高知追手前高校、土佐塾高校、高知農業高校にオリエンテーションや図書館見学を実施。
- ③他機関と連携した取組の実施
 - ・県・子育て支援課、高知県思春期相談センターPRINK(プリンク)と連携展示を実施(7~8月)。連携してブックリストも作成。
- ④ブログ、SNSの活用
 - ・ティーンズに薦めたい本の紹介文やテーマ展示をFacebook、Instagramに掲載。

成果と課題 (○:成果 ■:課題)

- ①ティーンズを主体とした読書普及活動の実施
 - 受験などの事由でティーンズ部メンバーが減少傾向にある。メンバーを増やすための工夫及び検討が必要。
- ②情報リテラシーの学習機会の提供
 - 山田高校の生徒への図書館活用講座は、リサーチクエストへの回答用参考図書の提供と館内見学ツアーが特に好評であり、図書館の利用促進につながった。
 - 「高校生ビジネスプラン・グランプリ」プラン作成講座では、ビジネスプランの作り方や、データベースを含む図書館資料の活用方法が紹介でき、高校生の将来に役立ち、図書館の利用につながる内容となった。



山田高校の生徒への図書館活用講座



高知県思春期相談センターPRINK(プリンク)との連携展示



「高校生ビジネスプラン・グランプリ」プラン作成講座

- ③他機関と連携した取組の実施
 - 多様な事情を抱えるティーンズに、図書館に親しみを感じてもらうための取組について検討が必要。
- ④ブログ、SNSの活用
 - ティーンズ部員やティーンズ世代の利用者からの投稿を増やす方法について検討が必要。

今後の取組

- ①・職場体験生などからティーンズの生の声を聞き、今後の活動内容に生かす。
- ・全国高等学校ビブリオバトル2024高知県大会を開催(11/17)。
- ・愛宕中学校(11-12月)、春野高校(1-2月)との連携展示。
- ・ティーンズ部員のおすすめ本を展示(3-4月)。
- ②・高校訪問などの機会に、教職員や生徒向けの図書館活用講座についてのPRを実施。
- ③・高知県心の教育センターなどの関係機関との連携を深め、多様な事情を抱えるティーンズに図書館サービスを届ける方法を考える。
- ・高知市教育支援センターで、中学生を対象とした出前講座『クリスマスPOPづくり』を実施し、作成したPOPで展示を実施(12月)。
- ④・ティーンズ部員や職場体験学習等で来館する生徒に、本の紹介などの寄稿を呼び掛ける。

主な連携先

高知県心の教育センター、高知市教育研究所、日本政策金融公庫

特記事項など

- ・支援協力担当と県立図書館長の高校訪問に同行し、サービスの説明を実施。(4校)
- ・児童・多文化サービス担当とともに教育研究所を訪問し、サービスの説明を実施。

3-【3】多文化サービス

概要

- 日本語を学習するための資料のほか、地域で生活するためのさまざまな情報や知識を、外国語やさしい日本語で提供します。
- 異文化を知るきっかけや、多様化する高知県在住の外国人の生活に役立つ情報を提供します。

サービス指標

ブックリストやパスファインダーの提供数

R 6年度 (R6. 8/31現在)	R 8年度目標
22種	31種

主な取組 (R6. 4/1~R6. 8/31)

- ①資料の収集・提供**
 - ・関係機関に働きかけて、イベント等で出前図書館や図書館のサービスチラシの配布等を行い、サービスや所蔵する資料をPR。
 - ・「姉妹・友好都市」の常設展示。
 - ・「ベトナムふれあい体験会」(4/20)と連動し、ベトナム関連資料の展示を実施(4月)。
 - ・多言語版おすすめ本アンケート用紙の設置。
新規
- ②情報活用のサポート**
 - ・在留外国人向けの図書館活用講座、やさしい日本語図書館ツアーを実施。
 - ・外国人向けの活用事例まんがを各関係機関へ配布。
- ③他機関等との連携**
 - ・国際交流員のおすすめ本を継続して展示。
 - ・「高知県外国人材受入・活躍推進プラン」に係る予算に基づき、市町村立図書館等から要望のあった資料を収集・提供。
 - ・外国にルーツがある子どもたちを対象にした支援について高知市教育研究所と協議。
新規
- ④各種催しなどの実施**
 - ・高知県文化国際課と共催で「ベトナムふれあい体験会」を実施(4/20)。KIA主催の「全羅南道学生交流プログラム」にてスタンプラリーに協力(7/31)。
 - ・子どもを対象に「HELLO WORLD外国語のおはなし会」等を実施。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①資料の収集・提供**
 - 連携機関が配布する多言語版の防災資料を設置することで、外国人利用者への地震啓発に関する情報提供ができています。
 - 多言語版おすすめ本アンケートにより、希望のあった資料を提供することで利用者のニーズに応えることができた。
 - 在留外国人の国籍や言語に対応した外国語資料、支援者や雇用主、地域住民が活用できる資料の充実が必要。
 - 多言語版おすすめ本アンケートの回答数が少ないため、さらなる周知が必要。
- ②情報活用のサポート**
 - 在留外国人を対象に、活用講座や図書館見学を行うことで、当館の多文化サービスを知ってもらう機会を提供できた。
 - 多文化サービスの対象者に向けて、利用促進のための広報をさらに充実させる必要がある。
 - 在留外国人や支援者向けのパスファインダーとブックリストの数が少ないため、必要な情報を検索できるように充実させる必要がある。
- ③他機関等との連携**
 - 関係機関からイベントへの協力・参加の呼びかけもあり、連携・協力体制が強化されてきている。
 - 在留外国人向け図書館サービスはまだ認知度が低く、継続的なPRが必要。
- ④各種催しなどの実施**
 - 「HELLO WORLD外国語のおはなし会」では、県内で在留者の多い国(ベトナム等)をテーマに設定し、多文化理解を深める場を提供できた。
 - より多くの在留外国人に多文化交流の場として図書館が有効であることを知ってもらうため、イベント情報が届くように、広報の工夫が必要。



出前図書館「ベトナムふれあい体験会」



多言語版おすすめ本アンケート



在留外国人を対象にしたやさしい日本語図書館ツアー

今後の取組

- ① 「高知県外国人材受入・活躍推進プラン」に係る予算を活用し、紙・電子両方の資料の収集や展示を継続。
 - ・多文化サービスの対象となる団体に対して継続的に広報を実施。
 - ・イベント等で多文化サービスについてのアンケートを実施し、利用者のニーズを把握。
- ② 在留外国人向け図書館活用講座を継続。
 - ・多読資料の配架方法を変更予定。
 - ・在留外国人に向けた、図書館の利用促進のためのPRの実施(各種広報媒体の活用等)。
 - ・ブックリスト、パスファインダーの作成。
- ③ 多文化サービスを支援する図書セットについて、市町村立図書館等からの需要に合わせて拡充を実施。
 - ・高知市教育研究所との連携を推進。
- ④ 国際ふれあい広場2024、秋の高知ベトナム交流会へ出展、共催「KIA語学ボランティア通訳翻訳セミナー」等を実施予定。

主な連携先

高知県国際交流協会(KIA)、県文化国際課、県雇用労働政策課、市総務課、高知県外国人生活相談センター(ココフォーレ)、JICA高知デスク、(一社)高知ベトナム交流会 等

特記事項など

第110回全国図書館大会長崎大会にて多文化サービスの取組事例を発表予定。

3-【4】図書館利用に障害のある人へのサービス

概要
 ○オーテピア高知声と点字の図書館と連携し、図書館利用に障害のある人に配慮したサービスを提供するとともに、サービスの積極的なPRを行います。
 ○多様な資料やサービス、コミュニケーション手段により、ユニバーサル・デザインの考えに沿った利用しやすい環境を整えます。

サービス指標	R 6年度 (R6. 8/31現在)	R 8年度目標 (見直し前)
	宅配貸出サービスの利用件数	17件
対面音訳サービスの利用件数	436件	1,200件(780件)

主な取組 (R6. 4/1~R6. 8/31)

- ① **バリアフリー資料の収集・提供**
 - ・大活字本やLLブックなど多様なバリアフリー資料を収集し、展示を実施。
 - ・前年度に引き続き、図書展示「布絵本コーナー」を設置。
- ② **イベント**
 - ・手話で楽しむおはなし会（協力：高知県聴覚障害者協会）を実施（7/28）。
- ③ **対面音訳ボランティアの養成**
 - ・ボランティア養成講座（連携：声と点字の図書館）を実施（8/3~）。
 - ・読みの調べ方講座を実施（7/14）。
- ④ **サービス対象者及び支援者への広報**
 - ・高知市居宅介護支援事業所協議会総会（4/18）、仁淀川町立池川小学校（5/28）、南国市立図書館（5/31）、発達障害者支援センター（6/20）、療育福祉センター部長会議（7/14）へ訪問、サービス紹介を実施。
 - ・動画版手話で楽しむおはなし会（3本目）を公開（6/1）。
 - ・高知健康科学大学共催イベント（親子向け）でバリアフリー機器を紹介（8/20）。
 - ・ルミエールオンラインサロンにてサービス紹介を実施（8/29）。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① **バリアフリー資料の収集・提供**
 - バリアフリー資料コーナー以外でも布絵本を展示することで、より多くの利用者に資料のアピールができ、手に取れる機会が増えた。
 - 最新情報を提供するため、随時ブックリスト等の更新が必要。
- ② **イベント**
 - 手話で楽しむおはなし会：参加者36名 聴覚障害者2名（補聴器具の装着等わかる範囲で確認したもの）の参加があった。うち1名の **保護者から子育てに関する相談があり、聴覚障害者協会とつなぐことができた。** 聞こえに障害がある方にも絵本に親しんでいただけ。 **当日の様子が高知新聞に取り上げられ、多くの県民・市民に広報できた。**
- ③ **対面音訳ボランティアの養成**
 - 読みの調べ方講座：受講者19名 受講者は活動内容や経験年数が異なっていたが、満足度が高かった。 **ボランティア活動に必要な知識や技術向上の機会を提供できた。**
- ④ **サービス対象者及び支援者への広報**
 - **発達障害者支援センターへの訪問をきっかけに、療育福祉センター部長会議でのサービス紹介が実現した。**
 - 今後も、サービス対象者やその支援者、関係機関等へ情報を届けるため、多様なPR方法の検討・実施が必要。



7/28 手話で楽しむおはなし会



7/14 読みの調べ方講座

今後の取組

- ① ・バリアフリー資料の収集、展示を継続。
 ・ブックリストの作成、更新を継続。
 ・手話言語の国際デー（9/1）に関する展示。
 ・障害者週間（12/1~12/28）に関する展示。
- ② ・バリアフリー映画会（11/3）。
 ・手話で楽しむおはなし会（1/26）。
- ③ ・対面音訳ボランティアスキルアップ研修を声と点字の図書館と連携して実施（12/15）。
- ④ ・市町村立図書館、特別支援学校等への訪問によるPRを継続。
 ・当館のSNSや庁内電子掲示板、ケーブルテレビなどでのサービス紹介を継続。
 ・大人の発達障害に関するセミナー（9/1）、障害者週間の集いin人権啓発フェスティバル（12月）、発達障害者就労支援実践セミナー（1/24）、発達障害に関する実践報告会&とくく会（3/22）にて出前図書館を実施。

主な連携先

県障害福祉課、県聴覚障害者協会、県療育福祉センター、ルミエールサロン、高知声と点字の図書館

特記事項など

- ・高知県読書バリアフリー計画の策定

4-【1】市町村立図書館等への支援 (県立図書館機能)

概要

○協力貸出等の物的支援と市町村職員を対象にした研修事業等の人的支援により、県全体の図書館サービスの充実と職員のスキル向上に取り組みます。
 ○東部・中央・西部の各ブロックの担当職員を置き、課題解決支援サービスのノウハウを共有するなど、各市町村の状況等に応じた支援を行います。

サービス指標

R6年度 (R6.8/31現在)	R8年度目標(見直し前)
協力貸出点数	17,076点
	40,000点(35,000点)

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

- ①巡回訪問や依頼訪問等による支援
 - ・図書館等の運営支援のため巡回訪問を実施。
 - ・図書館振興計画の目標達成に向け、県生涯学習課と定期的な打ち合わせを実施。
- ②情報提供
 - ・ブログやメールによる情報発信。
 - ・巡回訪問や研修時に当館のサービスを紹介。
 - ・「高知県内図書館協力マニュアル」を改定。
 - ・**県立図書館による多様な支援を簡潔に伝えるため、市町村立図書館等向けのチラシを作成。新規**
 - ・**研修開催時、セット資料実物の見学を実施。新規**
- ③研修の実施
 - ・図書館等の職員のスキルアップを目的とした図書館サービス研修(3回)、ブロック別研修(3地区延べ3回)、いつでも研修(1回)を実施。
 - ・巡回訪問時に研修動画を紹介するなど、遠隔地等の職員の自己啓発を促進。
- ④課題解決支援サービス実施への協力
 - ・物流システムの活用や協力レファレンス等により、図書館等へ資料を提供。
 - ・各市町村の課題に応じ、情報・資料を提供。
 - ・「高知県外国人材受入・活躍推進プラン」に係る新規予算に基づき、市町村から要望のあった資料を提供。(日本語多読資料、日本語学習資料、外国語の絵本等)
 - ・**当館作成のパスファインダーひな形を図書館等に提供。新規**
- ⑤移動図書館による支援
 - ・多くの利用が見込まれる資料を購入して運行。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①巡回訪問や依頼訪問等による支援
 - 図書館等からの求めに応じた情報を提供することで、業務をサポートしている。また、巡回訪問で把握した図書館等の実態や課題等を**県生涯学習課と共有することで、所管行政の動向を踏まえた働きかけを検討することができた。**
 - **新館整備中の佐川町立図書館に定期的に訪問し、情報提供を行うことができた。**
 - 図書館現場だけでは解決が難しい課題を抱える市町村には、所管行政を巻き込んだ働きかけが必要。
- ②情報提供
 - **宿毛市立坂本図書館の地震被害(R6.4.17発生M6.6)を県内図書館等や市町村の担当課と共有するとともに、地震対策について確認を促した。**
 - セット貸出の利用が特定の図書館等に偏っている。
- ③研修の実施
 - ブロック別研修会(前期)では、バリアフリーサービスをテーマとして、**自館の現状を確認するとともに、サービス開始・普及に目を向ける機会を提供できた。**実施後、別途研修希望があるなどの反響があった。
 - 仁淀川町からの求めにより、SNSを利用した図書館広報について研修を実施。**当館での実施方法やノウハウを共有できた。**
- ④課題解決支援サービス実施への協力
 - 図書館等での**多文化サービスの取組が拡大しつつある**(土佐市等での在留外国人に向けた日本語学習資料の提供、四万十市での企業(介護職の外国人材雇用)への団体貸出等)。
 - **にほんごサロンでの図書館活用について協議するため、担当課を訪問した(安芸市)。**
 - 県読書バリアフリー計画の策定作業が進行中であり、高知声と点字の図書館と連携を密にし、図書館等の環境整備やバリアフリーサービスの実施を促していく必要がある。
- ⑤移動図書館による支援
 - 図書館未設置町村を中心に資料提供ができた。
 - 図書館未設置町村への支援の重点化に向け、具体的な検討が必要。



R6ブロック別研修会(前期)

今後の取組

- ① 県生涯学習課と情報や取組方針を共有する機会を継続して設ける。
 - ・重点的な働きかけを要する図書館及び所管行政に、生涯学習課との同行訪問を検討。(候補：須崎市(新館整備))
- ② ブログ等での情報発信を継続。利用の少ない図書館等に巡回訪問等を通じて利用を促していく。
- ③ サービス研修(中堅職員向け)「ビジネス支援サービス」、専門研修「医療健康情報の提供」、ブロック別研修会(後期)「バリアフリーサービス」関連研修を実施。
- ④ がん・認知症啓発に関する巡回展示を実施。
 - ・各市町村の課題に合わせて資料・情報を収集・提供。特に、外国人材の確保・活躍に関する分野について、図書館等のニーズも考慮し、資料の充実を図る(香美市での日本語教室の開設にあわせた資料提供の検討)。
 - ・バリアフリーサービス開始に向けて、室戸市へ声と点字の図書館と同行訪問予定。
 - ・「図書館サービスのヒント集」チラシの第2弾の作成(図書館協会事業)。
- ⑤ 各市町村の図書館整備状況等を考慮しながら、図書館未設置町村への支援を重点化。

特記事項など

- ・新図書館支援の予算に基づき、土佐市立市民図書館への資料面での支援を実施。
- ・R6年度全国公共図書館研究集会兼高知県図書館大会の開催(11月・県図書館協会事業)。

4-【2】高知市全域サービスの拠点 (市民図書館機能)

概要

- オーテピア高知図書館(本館機能)と6つの分館、15の分室、2台の移動図書館が一体となり、高知市内全域で図書館サービスを展開します。
- 児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を支えられるように、高知市内の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校との連携・協力を強化します。

サービス指標

	R6年度 (R6.8/31現在)	R8年度目標 (見直し前)
分館・分室・移動図書館利用者数	120,470人	31万人(28万人)
分館・分室・移動図書館貸出点数	536,246点	1,363,000点(1,316,000点)
市内小中学校等への団体貸出点数	2,967点	11,200点

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

- ① 学校図書館との連携**
 - ・学校図書館支援員研修で講義を実施 (5/10)。(第2回は10/17を予定)
 - ・学校図書館や各学級に対するセット貸出などの団体貸出を実施。
 - ・児童図書優良図書展示会及び学校図書館支援員・司書教諭向け講演会を開催(7/30~8/2)。(共催：高知県書店商業組合、広報連携：市学校教育課)
 - ・市教育研究所を訪問し、意見交換を実施。(児童、ティーンズ、多文化サービス) **新規**
 - ・活用事例まんが作成のため、はりまや橋小学校を訪問。図書館支援員と教員にインタビューを実施。 **新規**
 - ・学校図書館支援員とのコミュニケーションツールとして『Google Classroom』を活用。団体貸出の受付等を検討中。 **新規**
- ② 分館・分室、移動図書館の活性化**
 - ・R6カルテ取組対象5分室。分析及び活性化案を検討中。
 - ・分室職員と一緒に土佐山学舎を訪問。図書館支援員と教頭に分室利用や学校図書館向けのサービスについて説明。 **新規**
 - ・分館・分室紹介展示及び紹介冊子を作成。 **新規**
 - ・各館を巡るシールラリー、本館職員による定期訪問を引き続き実施。
 - ・本館資料の活用展示(コテピア)を実施。
 - ・分館・分室による取組発表を実施。
- ③ 接遇力や利用サービスの向上**
 - ・交流要素も含め、基本業務研修の年間計画を策定。毎月の業務協議研修会で実施。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① 学校図書館との連携**
 - 教育研究所との意見交換により、不登校や外国にルーツのある子どもに対する新たな連携と支援の方法についての話が進んだ。
 - 学校訪問により、教科書改訂後に調べ学習の時間が半減し、授業の方法が変わってきていることが判明。改めて学校現場の意見を聞き、支援方法を再検討する必要がある。
 - 高知市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出の周知が不足。また、従来の学校向けの団体貸出との区別が必要：貸出実績2件(R6.4~8月末)
- ② 分館・分室、移動図書館の活性化**
 - 今年度カルテ取組対象に加わった分室は、他館の取組事例等を参考に、館運営の工夫や出前図書館の実施などに自発的に取り組んでおり、意欲の向上が見られた。
 - 分室職員との学校訪問により、新規の団体登録や分室での団体貸出につながった。
 - 分館・分室紹介展示は、XやFacebookでも広報を行うことで、分館・分室の周知と利用促進につながった。高知関係資料として資料登録する。
 - 分室職員から、一人勤務の場合が多い中、困ったことがあった時に本館とのやりとりができるようになり、仕事がしやすくなったとの声あり。
 - 本館職員が訪問時に提案や助言を行うことで、利用者が使いやすい環境が整った。
 - 教育支援センターとの連携事業「クリスマスPOPツリー」(ティーンズ・サービス)を契機に、隣接する潮江市民図書との連携が強化され、職場体験の受入れや配本活動など、新たな取組につながっている。
 - 本館資料の活用展示コテピアは、月平均270冊以上の利用があり好評。
 - 学校図書館担当教員が大変忙しく、学校での子どもたちの読書環境は学校図書館支援員によって左右されると感じた。支援員研修等、質の向上に向けて引き続き協力が必要。
 - 分館・分室における団体貸出について、利用しやすい方法の検討が必要。
- ③ 接遇力や利用サービスの向上**
 - 分館・分室職員の基本業務の習得機会や調査能力の向上に資する環境を構築できた。
 - 均一なサービスを目指すため、分館・分室の職員が使いやすいようにマニュアルを改訂して周知することが必要。



図書展示「図書館と地域を巡る旅 図りっぐ」(8/2-8/31)

今後の取組

- ①・第2回学校図書館支援員研修は10/17を予定。
- ②・教育研究所や教育支援センターへの支援として、事業実態に合わせた団体貸出を開始。(学校サポートルーム、通所施設、スクールソーシャルワーカーなど)
- ③・本館職員の訪問や、毎月の業務協議研修会での分館・分室による取組発表を継続して実施。
- ・カルテを活用した活性化のための取組の検討、実施後の検証を随時実施。取組を一覧化し共有。
- ・視聴覚資料版コテピアを継続して実施。
- ・シールラリー対象者の拡大。
- ・ウェブ・サイトへの分館・分室の館内写真の追加。
- ・本館職員による分館・分室への1日インターンシップを実施。

特記事項など

- ・高知市地域共生社会推進本部防災福祉部会(市の横断的な組織)の勉強会でサービス説明を実施(5月)。



4-【3】県立学校図書館等との連携・協力（県立図書館機能）

概要

- 生徒たちが読書を楽しみ、自ら必要な資料・情報を探し活用して学ぶ力を身につけるための支援を学校図書館と連携・協力して行います。
- カリキュラムや生徒のニーズに対応する資料の収集・提供等により、生徒の学びを支えとともに、教職員等に対する研修や講座等を実施します。

サービス指標

団体貸出点数

R6年度（R6.8/31現在）

1,489点

R8年度目標（見直し前）

10,000点(2,200点)

主な取組（R6.4/1～R6.8/31）

- ① 学校への資料の貸出しやレファレンスへの協力
 - ・「県立学校との連携・協力」に係る新規予算に基づき、デジタル、グリーン、グローバルの各分野の資料を収集・提供。
 - ・県高等学校課主催の情報科教育研修において、「情報」科に関する図書セットの展示及び電子書籍の登録・利用についての説明を実施。
 - ・高知工科大学による特別授業に合わせて、関連資料を追手前高校へ団体貸出。
- ② 学校や関係機関との連携の実施
 - ・主任実習助手の配置校へ訪問し、地域の高校の状況について聴取を実施。
 - ・当館でのパネル展を実施（2校）。また、連携展示の実施について協議（1校）。
 - ・訪問等に「高知県電子図書館」の利用登録と探究成果物の掲載を周知。
 - ・若草特別支援学校など県立学校の生徒を対象にした見学を実施。
- ③ 図書館活用講座等の実施
 - ・高知中央高校看護学科の生徒を対象に、医中誌webデータベース講座を実施。
 - ・山田高校グローバル探究科の生徒を対象に、図書館活用講座を実施。
- ④ 学校司書等の研修への協力
 - ・産業教育研究会商業部会や情報科教育研修においてサービス説明を実施。
 - ・市町村立図書館等職員向けの図書館サービス研修、ブロック別研修会を学校司書等に案内。

成果と課題（○：成果 ■：課題）

- ① 学校への資料の貸出しやレファレンスへの協力
 - 各校の取組や動向を把握して個別にアプローチすることで、学校が必要としている資料を提供することができた。
 - 特定教科の悉皆研修において、図書セットの展示やサービス説明を行うことにより、全校の教職員への広報ができた。また、学校からの要望を聞くことができた。
 - 市町村立学校や私立学校を含め、「高知県電子図書館」の利用登録が進んだ（R6年度県立学校新規登録6校802人。累計12,124人）。また、探究学習成果物13点を追加。累計154点掲載。
 - デジタル、グローバル、グリーンの各分野の図書セットについて、具体的な活用方法の提示など、さらなる周知が必要。
 - 「高知県電子図書館」の利用登録（新生生の追加登録を含む）を行っていない学校への働きかけが必要。
 - 電子図書館の利用促進のため、さらなる周知が必要。
- ② 学校や関係機関との連携の実施
 - 主任実習助手への訪問を実施したことで、東部及び西部の県立学校図書館の状況や課題を知ることができ、各校のニーズに対応した訪問ができるようになった。
 - パネル展や連携展示により、各校の特色ある取組を来館者に紹介することができ、学校のPRにつながった。
- ③ 図書館活用講座等の実施
 - 教科教育に沿った、より実践的なデータベース講座を実施できた。
 - 図書館での情報の探し方や情報リテラシーに関する理解を広めることができた。また、探究テーマに関連する資料を講座で紹介することで、貸出しにつながった。
 - 図書館活用講座の効果的な実施に向けて、改善やPRが必要。
- ④ 学校司書等の研修への協力
 - 図書館サービス研修、ブロック別研修会を学校司書等に案内してきたことで、県立学校教職員の恒常的な参加につながった。
 - 学校司書以外の教職員に対して、サービスのさらなる説明が必要。



データベース講座▶

(6/27 高知中央高校看護学科)

今後の取組

- ① 利用実績のある学校を主な対象として、学校司書等の関係教職員に授業でのセット図書の活用を提案。
 - ・学習に役立つ電子書籍の充実を図るため、引き続き要望の聴取や選書を実施。
 - ・県高等学校課、県私学大学支援課と情報共有をしながら、未登録校を訪問し、登録を促すとともに、端末を持参してデモンストレーションを行うなど、「高知県電子図書館」の活用方法等のPRを実施。
- ② 主任実習助手への聞き取り内容を基に、学校図書館や関係課等へ訪問。
- ③ 特色ある学科を有する学校を主な対象としてデータベース講習会を企画し、学校訪問の際に提案。
- ④ 教職員を対象にしたサービス説明を校内研修で実施できるよう、学校訪問の際に打診。
 - ・教員向け研究部会でサービス説明を実施できるよう、県高等学校課、県私学大学支援課と協議。
 - ・校内研修会等で教職員の自己啓発等に役立つ資料の貸出しができるよう、実習助手を通じて学校図書館と協力。

特記事項など

- ・高知警察署との共催で就職相談会を実施。



4-【4】大学等の教育・研究機関等との連携・協力

概要

○教育・研究機関に対して、当館の有する資料・情報を生かし、ニーズや必要性に応じて活動をサポートします。
 ○多くの人に利用されている当館の強みを生かし、イベント等の共催や、広報活動の支援などにより、相乗的な効果が発揮できるように積極的に連携を進めます。

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

※個別サービスでの取組は各サービスのシート内に掲載

①大学等の教育研究機関との連携

- ・高知健康科学大学と連携講座や共催イベント（親子向け）、学生対象の図書館活用講座を実施。
- ・高知リハビリテーション専門職大学と連続講座や連携展示を実施。
- ・9月の「がん征圧月間」・「世界アルツハイマー月間」に合わせて、県内の大学図書館等で巡回展示を実施。
- ・**高知大学学術情報基盤図書館との相互協力協定の再締結。新規**
- ・**高知大学次世代地域創造センターとの共同研究に向けた協議の実施。新規**

②出前図書館等での資料の紹介・提供

- ・連携講座の会場で図書館のサービスの説明や資料の貸出しを実施。

③アウトリーチ・サービスの実施

- ・**高知健康科学大学との相互協力協定の締結を含めた連携協議の実施。新規**

④学生ボランティア等との協働

- ・高知学園短期大学幼児保育学科保育研究会による読み聞かせや本の修理、壁面デコレーションの実施。
- ・高知県立大学「オーテピアンズ」による当館SNSでの情報発信。「大人の方へ贈る読み聞かせ」第5弾を制作、9/6から週一で配信予定。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

①大学等の教育研究機関との連携

- 学生に対して、図書館の活用方法について伝えることができた。
- 継続的に連携事業を行うことで、各大学の取組の周知や利用者への医療健康情報の提供に寄与した。
- 図書館活用講座の参加者が、講座受講後に利用カードの登録や電子図書館の利用申請を行うなど、その後の利用拡大につながった。
- **高知大学次世代地域創造センターとの共同研究については、大学の有する専門性を生かした取組につながることを期待される。**

②出前図書館等での資料の紹介・提供

- 継続的な実施により、学生を対象にした図書館活用講座が定着してきている。

③アウトリーチ・サービスの実施

- **開学に先立ち、速やかに高知健康科学大学附属図書館へアプローチしたことにより、R6年度当初から県図書館協会に加入していただけた。また、相互協力協定の締結に向けた協議にも着手できた。**
- 連携先が限定的になっており、特に複数の学部や機関等を有する大学については、一つの部署との連携にとどまることなく、連携の拡大に向けた働きかけが必要。

④学生ボランティア等との協働

- 学生の専門知識や企画力を生かした活動が、図書館サービスの充実につながった。
- 活動を通して、保育の現場で役立つスキルを身につける機会を提供するとともに、卒業後も図書館を利用してもらえるよう、図書館サービスや本の紹介ができた。
- 当館SNSに学生の視点で投稿してもらうことで、本の紹介や当館の魅力を親しみやすく発信できている。
- 図書館内の活動だけにとどまらず、オーテピアンズ公式YouTubeに読み聞かせ動画を投稿し、継続的に情報発信ができています。

今後の取組

- ①・連携実績がない大学等に対して、アウトリーチによる働きかけを実施。
 ・高知大学次世代地域創造センターとの連携について、さらに協議を進める。
- ②・資料のさらなる貸出しにつながるよう、講座の内容に即したブックリストの作成等を検討。
- ③・高知健康科学大学附属図書館との相互協力協定の締結の時期は、年度内を目途とする。
 ・各大学等の図書館や関係部署を訪問し、各館の取組状況や意向等について情報収集・意見交換を実施。
- ④・学生の専門性や企画力を生かした活動のサポートを引き続き実施。

主な連携先

高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知リハビリテーション専門職大学、高知健康科学大学、高知大学医学部、高知工業高等専門学校、高知学園短期大学 など

特記事項など

4-【5】中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携

概要

- オーテピア高知図書館の資料・情報、司書の専門性、利便性の高い立地といった資源を活用し、中心市街地の活性化に寄与します。
- 文化施設等の周辺施設と連携・協力し、各施設の強みや機能の充実・強化を図り、互いの施設の利用促進や情報発信等につなげます。

主な取組 (R6.4/1~R6.8/31)

- ①個々の商店や商店街全般に役立つ図書等の収集・提供
 - ・商店経営の仕方や商店街振興につながる図書や雑誌などの資料を継続的に収集・提供。
- ②観光情報の収集・発信
 - ・よさこい祭りに合わせて、市地域活性推進課と連携したパネル展示を実施。
 - 祭り開催期間中は、1階エントランスの開館時間を延長し、休憩場所として開放。
- ③商店街や日曜日等の情報発信
 - ・日曜市のポスターを1階エントランスホールで継続掲示。
- ④商店街との協働
 - ・土曜夜市へ出店(7/20)。クイズラリー及びブックオープンチャレンジを実施。
- ⑤図書館サービスのPR
 - ・協同組合帯屋町筋の通常総会懇親会に県市両館長が出席(5/27)。
 - ・協同組合帯屋町筋を通して、当館広報紙『コトノハ』を継続配布。
- ⑥文化施設との連携
 - ・高知県立文学館の企画展「あんびるやすこ作品展」に合わせ、2階こどもコーナーで関係資料を展示。
 - ・「お城下文化の日」に合わせて商店街で開催される国際交流イベントとスタンプラリー等で連携する協議を実施中。

成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①個々の商店や商店街全般に役立つ図書等の収集・提供
 - 継続的に商店街振興に役立つ選書をしたことで、経営や販売に関する資料が充実した。
 - 商店街振興に役立つブックリストの数が少なく、商店街に図書館利用を促すきっかけが不足している。
- ②観光情報の収集・発信
 - 関係課と連携し、1階休憩コーナーでよさこいやよさこい移住に関する展示を行うことで、よさこい祭りの賑わいに貢献できた。
- ③商店街や日曜日等の情報発信
 - 日曜市のポスターやパンフレットを館内に設置することで、継続的に日曜市のPRに貢献できている。
- ④商店街との協働
 - 土曜夜市ではブースに多くの人々が立ち寄り、商店街の賑わいに貢献できた。クイズラリーの実施によりオーテピア館内への誘導もでき、これまで来館したことがない方も図書館のPRができた。また、参加賞として特設文庫資料を使用したシールを配布することにより、特設文庫の資料に触れる機会を提供できた。
- ⑤図書館サービスのPR
 - 帯屋町商店街の関係者と定期的なつながりを持つことで、図書館のPRができた。
 - PR方法について引き続き検討が必要。
- ⑥文化施設との連携
 - 「お城下文化の日」以外での施設同士の連携について検討が必要。



ブースにたくさんの人が立ち寄る土曜夜市



よさこい祭りに合わせたパネル展示

今後の取組

- ① 商店街振興に役立つブックリスト（インバウンド対応に関する内容を予定）の作成。
- ② 展示等を通じて、引き続き観光情報を発信。NHK連続テレビ小説「あんばん」（令和7年度前期放送）に関連した展示を実施予定。
- ③ 日曜日PRポスターや商店街に関するパンフレット等を継続して掲示・配布。
- ④ 龍馬生誕祭に参加予定（11/15）。まちゼミに参加予定（1月）。
- ⑤ 広報紙やブックリストの配布の機会をとらえて、商店街の方に図書館サービスのPRを実施。
- ⑥ 文化施設との連携に継続的に取り組む。
 - ・「お城下文化の日」（11/17）に参加予定。

主な連携先

市商業振興・外商支援課、市地域活性推進課、協同組合帯屋町筋、高知商工会議所、高知お城下文化施設の会

特記事項など